

# 第21回三木市俳句まつり

日時 令和3年3月6日(土) 午前10時より

会場 三木市吉川町公民館

## 行事予定

※新型コロナウイルス感染症予防対策として当日行事を中止する場合があります。

★当日句及び吟行会

★応募作品成績発表及び表彰

★入賞作品の書道パフォーマンス

「吉川高校書道部」



旧竹原街道・黒滝・若宮神社

主催 三木市俳句まつり実行委員会

後援 三木市・三木市教育委員会

三木市議会・神戸新聞社・JAみのり

吉川町文化協会・吉川町公民館

## ～ 宿場町竹原とその周辺 ～

宿場町竹原は、現在では稲田地区と呼ばれています。明治期に竹原村と宮脇村が合併して地区名になっています。

竹原村は、宿場町として知られ今も二軒の宿があります。村の歴史は鎌倉後期頃よりと思われれます。京都大坂より摂津国から赤松峠を越え播磨国に入った最初の宿場となっています。鎌倉・室町・戦国と当地区を治めていた武将「藤田氏」は、街道を見下ろせる小高い台地の宮脇村に居館を構え周辺を見守っていました。宮脇村にある「若宮神社」も藤田氏が社殿を建立したと伝わっています。江戸期には、竹原は宿駅と定められ機能を果たしています。明治・大正・昭和には地域の商店街として発展し、「竹原に行けば何でも揃う」と言われ又、映画館やパチンコ、飲み屋もあり、昭和三十年頃には大賑わいしたそうです。今は少しさびしい感じですが、昔の店の構えも残り宿泊宿が今もあるのが嬉しいですね。

(文:よかわ歴史サークル)



# 俳句まつり作品募集要項

## ◆ 開催目的

大人から子供まで、俳句を通じて、情操と感性を育み交流を図ることを目的とする。

## ◆ 応募部門

イ. 一般の部      ロ. 高校生・小中学生の部

## ◆ 2句1組

1人6組まで・未発表作品に限る

※高校生・小中学生は1人1句

## ◆ 投句料

1組(2句)1,000円(郵便為替)

高校生・小中学生は無料

## ◆ 投句先

〒673-1114

三木市吉川町吉安246

吉川町公民館内 三木市俳句まつり係

電話 0794-72-1577 (休館日:祝日・月末日)

## ◆ 締切り日

令和 2年11月16日(月)(当日消印有効)

## ◆ 選者(予定)

朝妻 力(雲の峰主宰)

川崎 聰子(吉川白萩俳句会主宰)

小杉 伸一路(九年母主宰)

中岡 毅雄(いぶき共同代表)

はりま だいすけ(斧主宰)

森 ちづる(斧副主宰編集長)

矢野 景一(海棠主宰)

山口 昭男(秋草主宰)

若森 京子(海原同人)

## ◆ 表彰

(予定) 三木市長賞・三木市教育長賞・三木市議会議長賞

神戸新聞社賞・JAみのり賞・吉川町文化協会長賞

吉川町公民館長賞・選者特選賞・佳作・奨励賞

## ◆ 当日句会及び吟行会

※新型コロナウイルス感染症予防対策として当日行事を中止する場合があります。

吟行地:吉川町旧竹原街道周辺(三木市吉川町稲田)

午前10時~11時30分

吟行会及び当日句会 出句1人2句

共に締切り 正午

表彰は大会賞に準じる

## ◆ 問合わせ先

〒673-1113 三木市吉川町福井 98 はりま だいすけ TEL0794-72-1407